

2 日立市地域福祉推進計画2019の策定に係る 市民アンケートの結果について

第1章 調査概要

1 調査目的

第4期日立市地域福祉計画及び第5次日立市地域福祉活動計画の策定を進めるに当たり、市民の地域福祉に関する意識を調査し、計画策定内容に反映する。

2 調査内容

(1) 対象者

日立市内に住む満18歳以上の男女

(2) 対象者数

1,500人

(3) 抽出方法

住民基本台帳から満18歳以上の男女1,500人を無作為抽出

(4) 調査方法

ア 郵送による送付、回収

イ 無記名方式

(5) 調査期間

平成30年4月13日から4月27日まで

(6) 調査票の構成

ア 回答者自身に関すること（フェイスシート）

①性別、②年齢、③職業、④世帯の構成、⑤住居の種類、⑥居住地のコミュニティ、

⑦日立市に住んでいる年数

イ 町内会への参加に関すること

①加入の有無

②加入していてよかったこと

③加入していない理由

ウ 地域活動への参加に関すること

①加入の有無

②参加状況と活動内容等

③参加していない理由、今後の意向、参加する場合の活動内容等

④今後も参加しない理由

エ 今後の地域活動への関心

①参加への関心の有無

②関心のある組織・内容

③関心のない理由

- オ 地域に対する親しみを育むために必要なこと
- カ 日常生活において不安に感じていることなど
- キ 福祉に関する困りごとの解決手段
- ク 困りごとの相談相手
- ケ 困りごとを解決するための仕組み
- コ 隣近所の人から頼まれたときに「できる」こと
- サ コミュニティ等における個人情報の共有について
- シ 市社協の認知度
- ス 市社協の会費に対する協力について
 - ①協力の有無
 - ②協力しない理由
- セ 関心事項について
- ソ 今後の福祉の方向性について

3 回収結果

発送数	有効回収数	有効回収率
1,500 通	552 通	36.8%

第2章 調査結果

1 回答者属性

(1) 性別

表1 (単位：件)

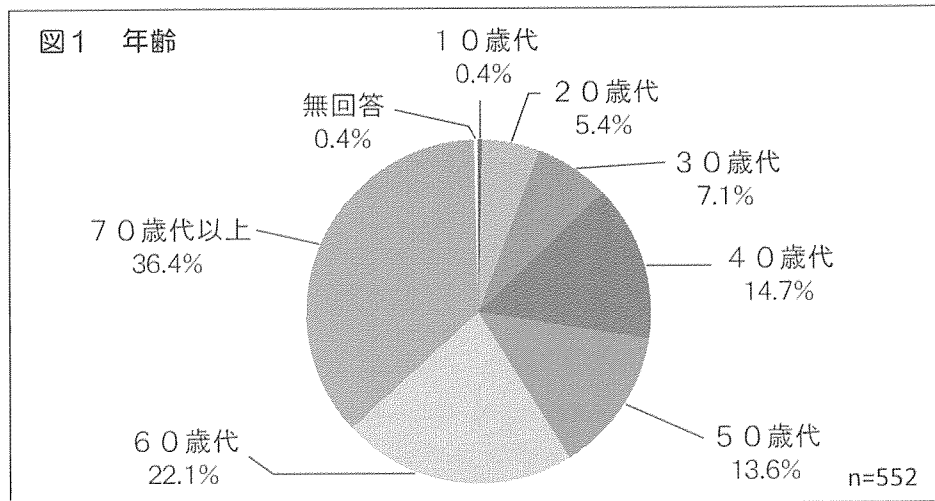
性別	件数	割合
男	218	39.5%
女	331	60.0%
無回答	3	0.5%
計	552	100.0%

※集計方法等について

- ・集計は、小数点第2位を四捨五入している。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・グラフ中の「n」は、その設問に対する回答者数を示している。
- ・「複数回答」の表示がないものは、「単数回答」である。

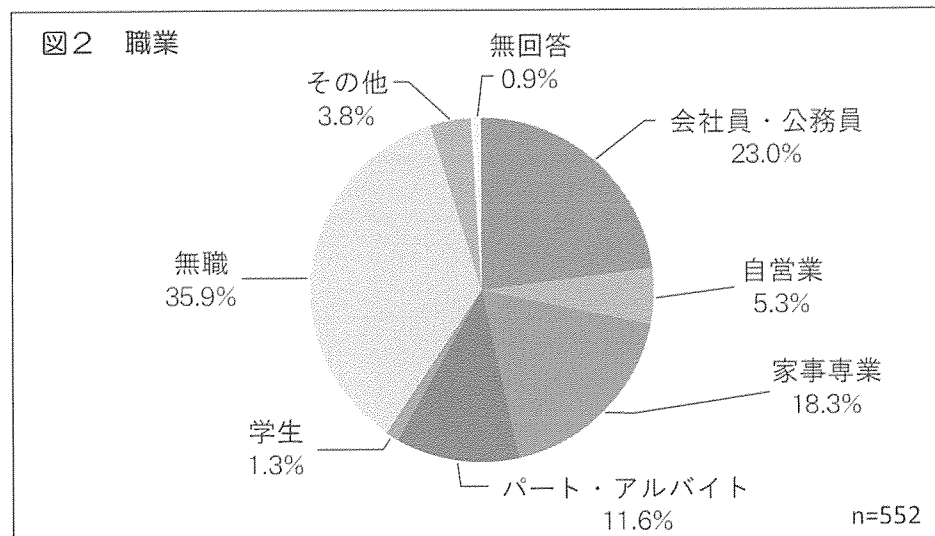
(2) 年齢

70歳代からの回答が36.4%で最も多い。また、回収率が最も高い年代は70歳代で49.3%、最も低い年代は10歳代の5.7%である。



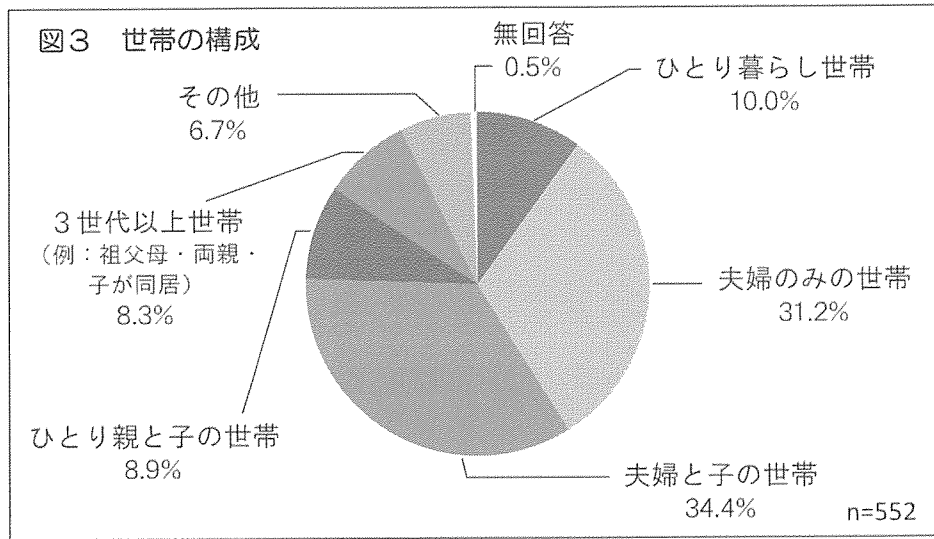
(3) 職業

「無職」が35.9%で最も多く、次いで「会社員・公務員」が23.0%である。



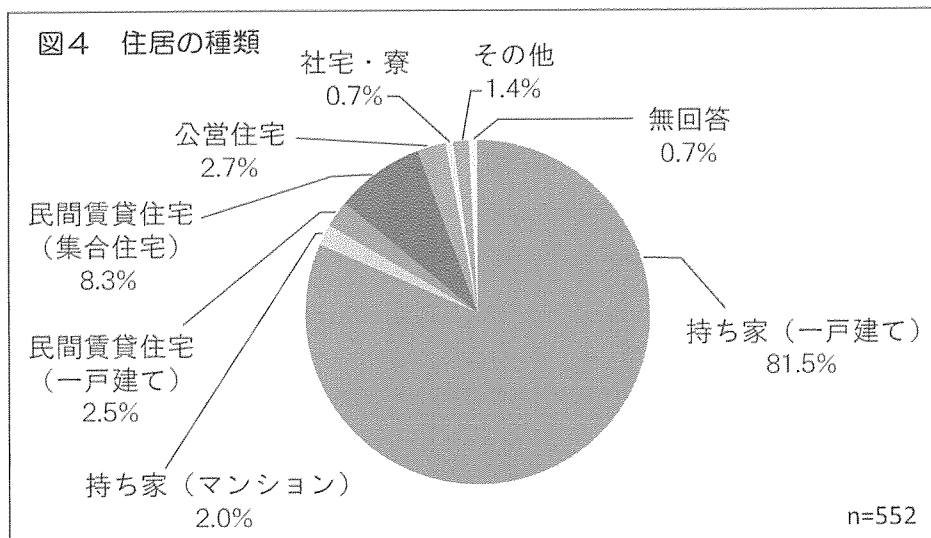
(4) 世帯の構成

「夫婦と子の世帯」が34.4%で最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が31.2%である。



(5) 住居の種類

「持ち家（一戸建て）」が81.5%で最も多い。「持ち家（マンション）」、「民間賃貸住宅」、「公営住宅」、「社宅・寮」は、合わせて16.2%である。



(6)住んでいるコミュニティ

自分が住んでいるコミュニティについて、「わからない」、「無回答」は、合わせて2.8%である。

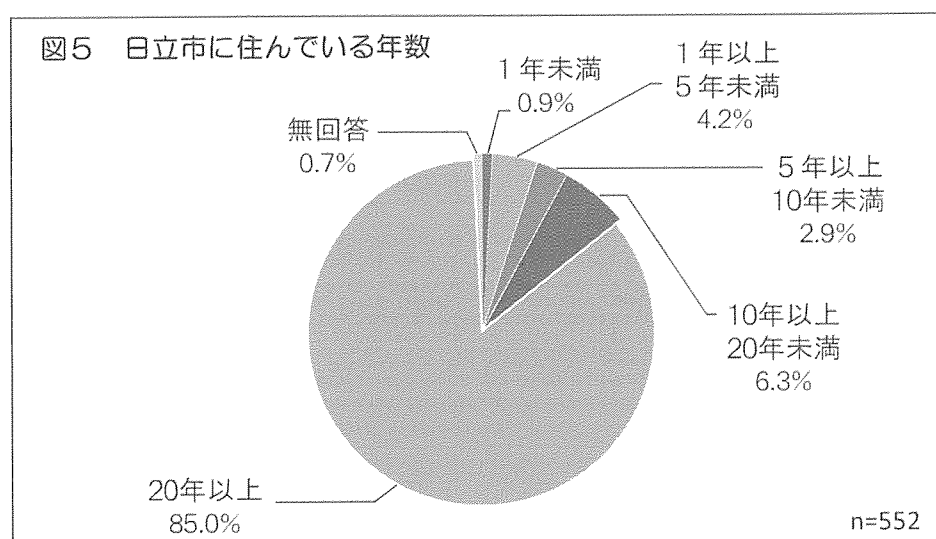
表2 住んでいるコミュニティ

(単位：件)

コミュニティ名	回答数	割合	コミュニティ名	回答数	割合
1 十王地区コミュニティ推進會	47	8.5%	14 諏訪学区コミュニティ推進會	23	4.2%
2 豊浦学区まちづくり推進會	29	5.3%	15 大久保学区コミュニティ推進會	35	6.3%
3 日高学区市民自治會	15	2.7%	16 河原子学区コミュニティ推進會	16	2.9%
4 田尻学区コミュニティ推進會	35	6.3%	17 塙山学区住みよいまちをつくる會	23	4.2%
5 滑川学区コミュニティ推進會	33	6.0%	18 大沼学区コミュニティ推進會	37	6.7%
6 宮田学区コミュニティ推進會	10	1.8%	19 金沢学区コミュニティ推進會	24	4.3%
7 中里学区コミュニティ推進會	5	0.9%	20 水木学区コミュニティ推進會	30	5.4%
8 仲町学区コミュニティ推進會	11	2.0%	21 大みか学区コミュニティ推進會	14	2.5%
9 中小路学区コミュニティ推進會	11	2.0%	22 久慈学区コミュニティ推進會	24	4.3%
10 助川学区コミュニティ推進會	25	4.5%	23 坂下地区コミュニティ推進會	28	5.1%
11 会瀬学区コミュニティ推進會	12	2.2%	24 わからない	13	2.4%
12 成沢学区コミュニティ推進會	27	4.9%	25 無回答	2	0.4%
13 油繩子学区コミュニティ推進會	23	4.2%	合計	552	100.0%

(7)日立市に住んでいる年数

回答者の多くが、20年以上日立市に住んでいると回答している。



2 町内会に関すること

(1) 町内会への加入

町内会へは、69.6%が加入していると答えている。

また、年代別の加入率では、50歳以上の回答者が町内会への加入率が高い傾向となっている。

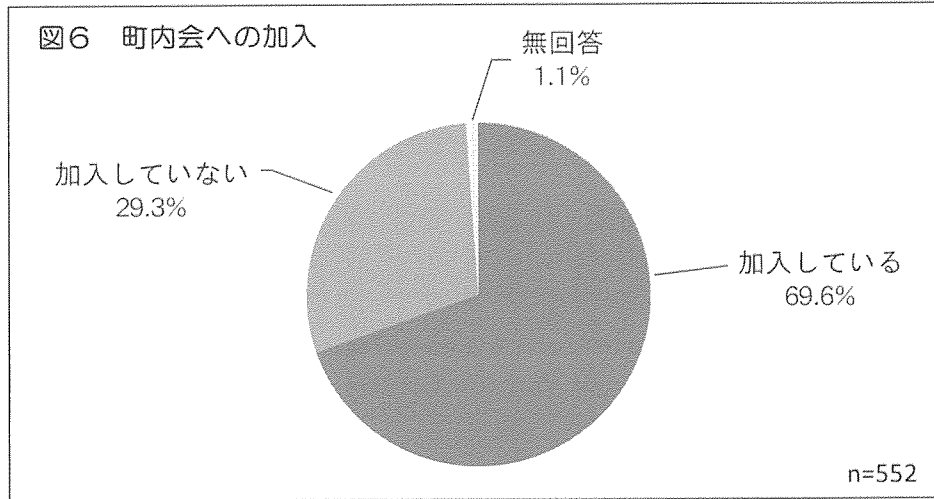


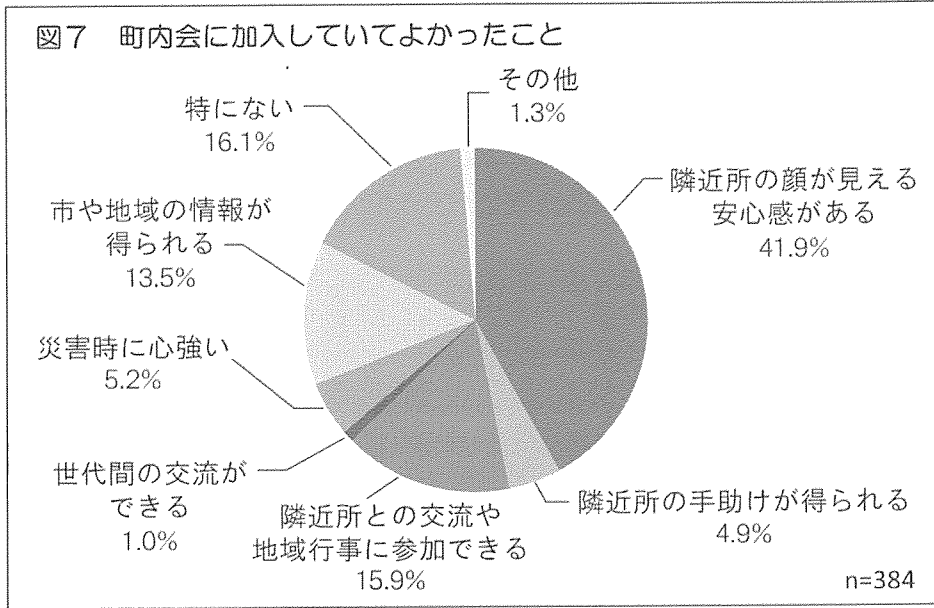
表3 町内会への加入の有無

(単位：件)

年代	加入している		加入していない		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
18歳以上20歳未満 (n=2)	0	0%	2	100%	0	0.0%
20歳代 (n=30)	14	46.7%	16	53.3%	0	0.0%
30歳代 (n=39)	14	35.9%	25	64.1%	0	0.0%
40歳代 (n=81)	42	51.9%	39	48.1%	0	0.0%
50歳代 (n=75)	61	81.3%	13	17.3%	1	1.3%
60歳代 (n=122)	97	79.5%	25	20.5%	0	0.0%
70歳代以上 (n=201)	154	76.6%	42	20.9%	5	2.5%
無回答 (n=2)	2	100%	0	0.0%	0	0.0%
計	384		162		6	

(2) 町内会に加入していてよかったこと

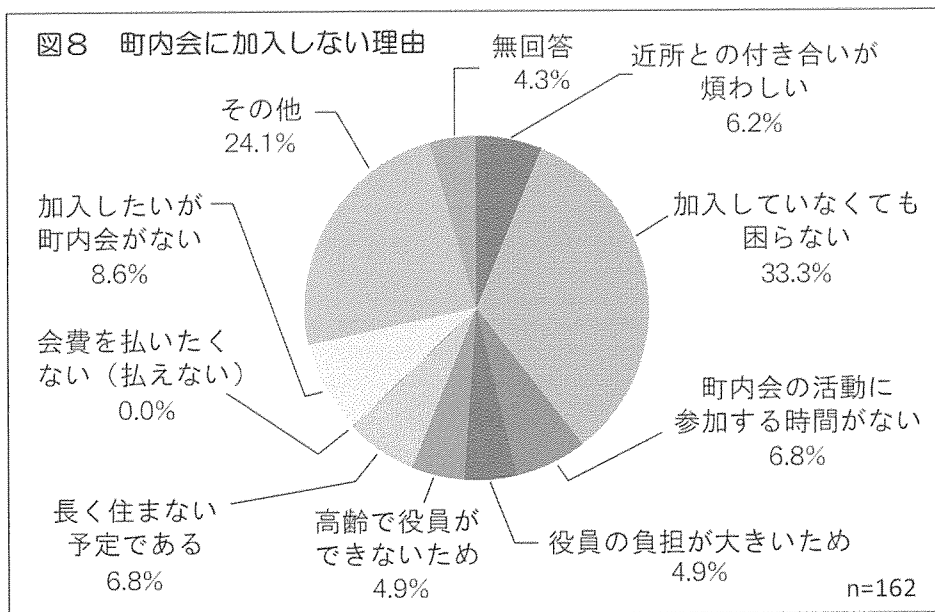
「隣近所の顔が見える安心感がある」が41.9%、「隣近所との交流や地域行事に参加できる」が15.9%となっている。一方で「隣近所の手助けが得られる」が4.9%となっており、隣近所の関わりは大切だが、隣近所の手助けは望まない傾向にある。



(3) 町内会に加入していない理由

「加入しなくても困らない」が33.3%で最も多い。次いで「その他」が24.1%である。「その他」の内容をみると、「町内会が解散した」、「(町内会への) 入り方が分からない」、「町内会があるのかわからない」などであった。

地域における人間関係の希薄化が指摘される中で、「近所との付き合いが煩わしい」との回答は、6.2%にとどまっている。



3 地域活動等への参加

(1) 参加の有無

「参加している」が37.9%、「参加していない」が61.4%であった。

年代別では、10歳代、20歳代の「参加している」の割合が低くなっている。

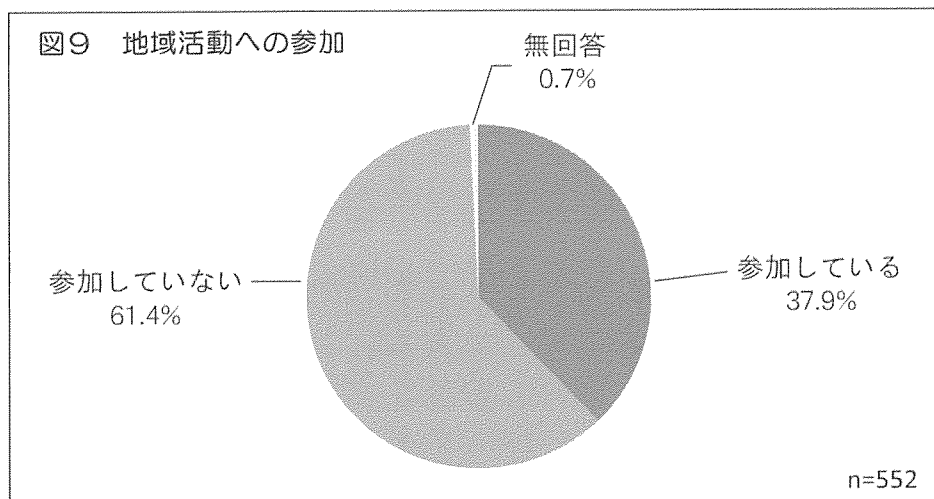


表4 地域活動への参加の有無

(単位：件)

年代	参加している		参加していない		無回答	
	回答数	参加率	回答数	不参加率	回答数	割合
18歳以上20歳未満 (n=2)	0	0.0%	2	100%	0	0.0%
20歳代 (n=30)	4	13.3%	26	86.7%	0	0.0%
30歳代 (n=39)	11	28.2%	28	71.8%	0	0.0%
40歳代 (n=81)	27	33.8%	53	66.3%	1	1.3%
50歳代 (n=75)	25	33.3%	50	66.7%	0	0.0%
60歳代 (n=122)	50	41.0%	72	59.0%	0	0.0%
70歳代以上 (n=201)	91	45.3%	107	53.2%	3	1.5%
無回答 (n=2)	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
計	209		339		4	

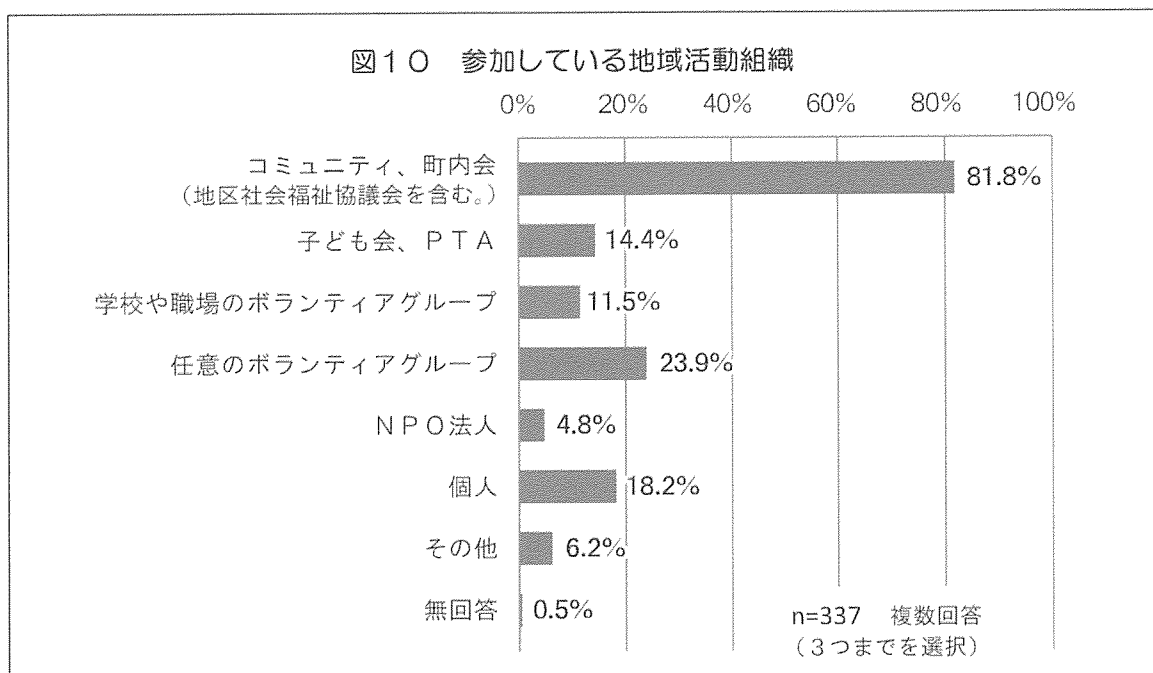
表5 コミュニティ別地域活動への参加の有無

(単位：件)

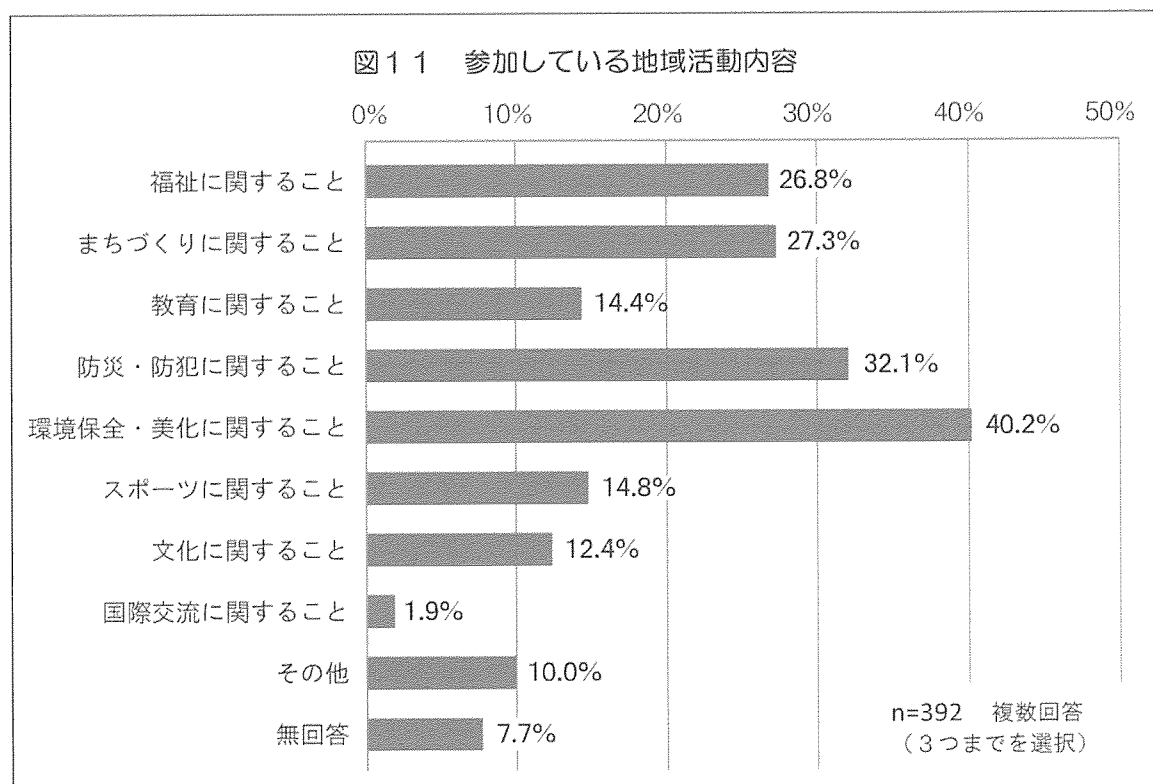
コミュニティ名		地域活動に 参加している	参加率
1	十王地区コミュニティ推進会 (n=47)	21	44.7%
2	豊浦学区まちづくり推進会 (n=29)	12	41.4%
3	日高学区市民自治会 (n=15)	6	40.0%
4	田尻学区コミュニティ推進会 (n=35)	9	25.7%
5	滑川学区コミュニティ推進会 (n=33)	15	45.5%
6	宮田学区コミュニティ推進会 (n=10)	6	60.0%
7	中里学区コミュニティ推進会 (n=5)	5	100.0%
8	仲町学区コミュニティ推進会 (n=11)	5	45.5%
9	中小路学区コミュニティ推進会 (n=11)	4	36.4%
10	助川学区コミュニティ推進会 (n=25)	9	36.0%
11	会瀬学区コミュニティ推進会 (n=12)	5	41.7%
12	成沢学区コミュニティ推進会 (n=27)	17	63.0%
13	油縄子学区コミュニティ推進会 (n=23)	5	21.7%
14	諏訪学区コミュニティ推進会 (n=23)	10	43.5%
15	大久保学区コミュニティ推進会 (n=35)	15	42.9%
16	河原子学区コミュニティ推進会 (n=16)	3	18.8%
17	塙山学区住みよいまちをつくる会 (n=23)	10	43.5%
18	大沼学区コミュニティ推進会 (n=37)	12	32.4%
19	金沢学区コミュニティ推進会 (n=24)	9	37.5%
20	水木学区コミュニティ推進会 (n=30)	11	36.7%
21	大みか学区コミュニティ推進会 (n=14)	4	28.6%
22	久慈学区コミュニティ推進会 (n=24)	8	33.3%
23	坂下地区コミュニティ推進会 (n=28)	7	25.0%
24	わからない (n=13)	0	0.0%
25	無回答 (n=2)	1	50.0%
合 計 (n=552)		209	37.9%

(2) 参加している組織、活動内容

活動している組織については、「コミュニティでの活動、町内会活動（地区社会福祉協議会での活動を含む）」が81.8%で最も多い。

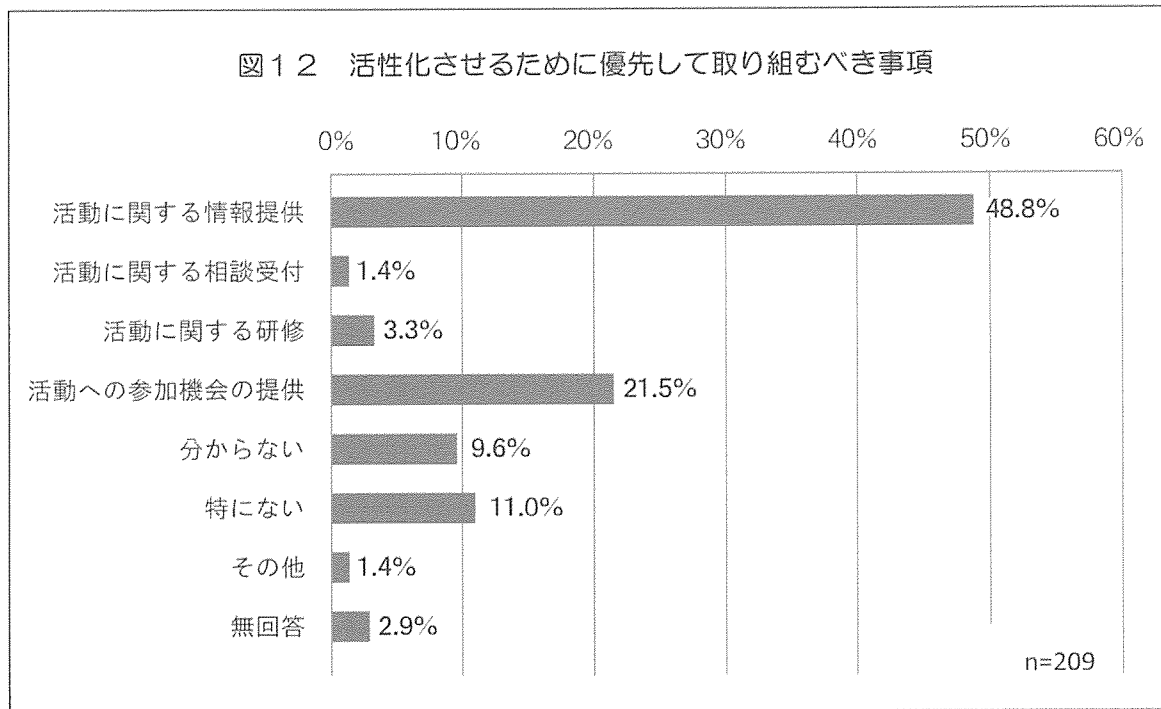


また、活動内容については、「環境保全・美化に関すること」が40.2%で最も多く、次いで、「防災・防犯に関すること」が32.1%となっている。



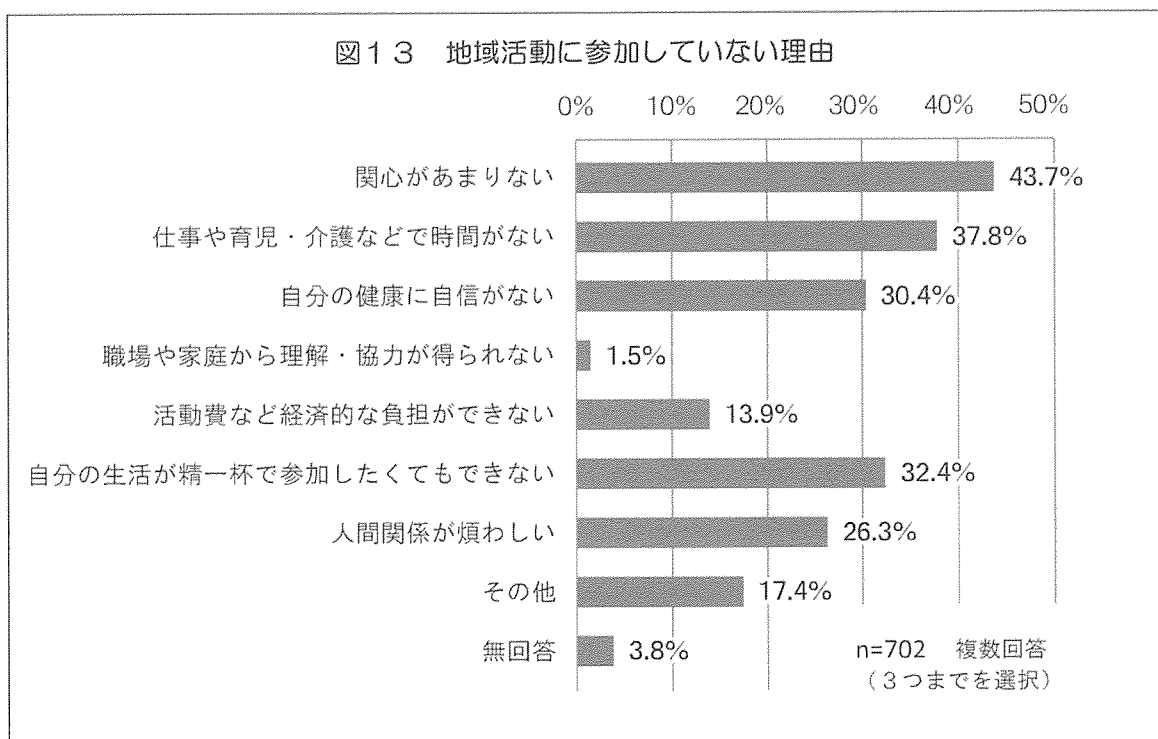
(3) 地域活動等を活性化させるために最も優先して取り組むべき事項

優先して取り組むべき事項は、「活動に関する情報提供」が48.8%で最も多く、次いで「活動への参加機会の提供」が21.5%となっている。



(4) 地域活動に参加していない理由

「関心があまりない」が43.7%で最も多く、次いで「仕事や育児・介護などで時間がない」が37.8%となっている。



4 今後の地域活動への参加

(1) 関心の有無

「関心がない」が50.2%となり、「関心がある」を2.7ポイント上回った。
年代別では、30歳代の方の関心が高くなっている。

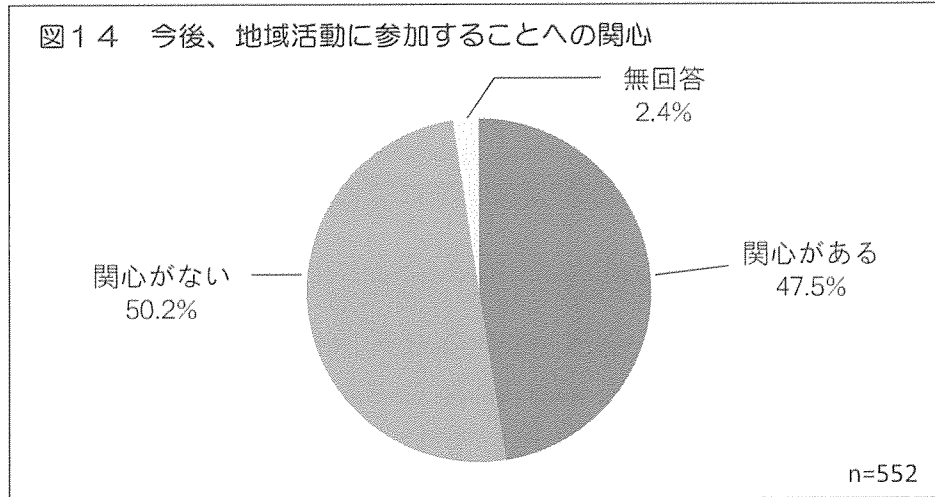


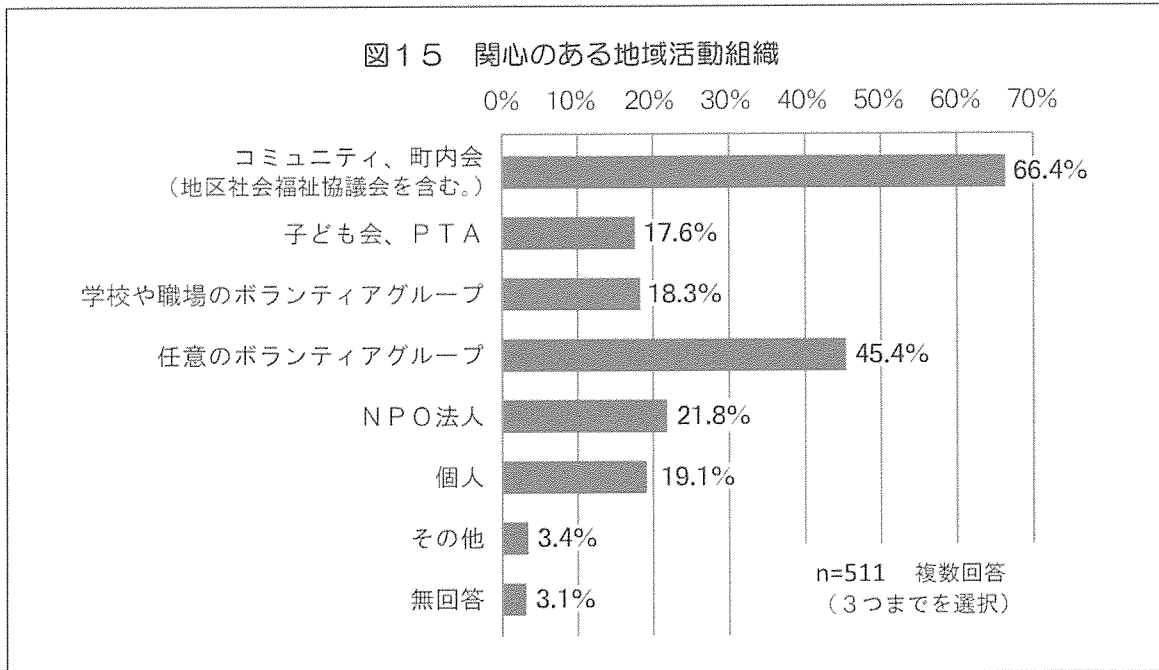
表6 地域活動への関心の有無

(単位：件)

年代	関心がある		関心がない		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
18歳以上20歳未満 (n=2)	0	0.0%	2	100%	0	0.0%
20歳代 (n=30)	13	43.3%	17	56.7%	0	0.0%
30歳代 (n=39)	24	61.5%	15	38.5%	0	0.0%
40歳代 (n=81)	29	35.8%	51	63.0%	1	1.2%
50歳代 (n=75)	33	44.0%	42	56.0%	0	0.0%
60歳代 (n=122)	70	57.4%	51	41.8%	1	0.8%
70歳代以上 (n=201)	92	45.8%	98	48.8%	11	5.5%
無回答 (n=2)	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
計	262		277		13	

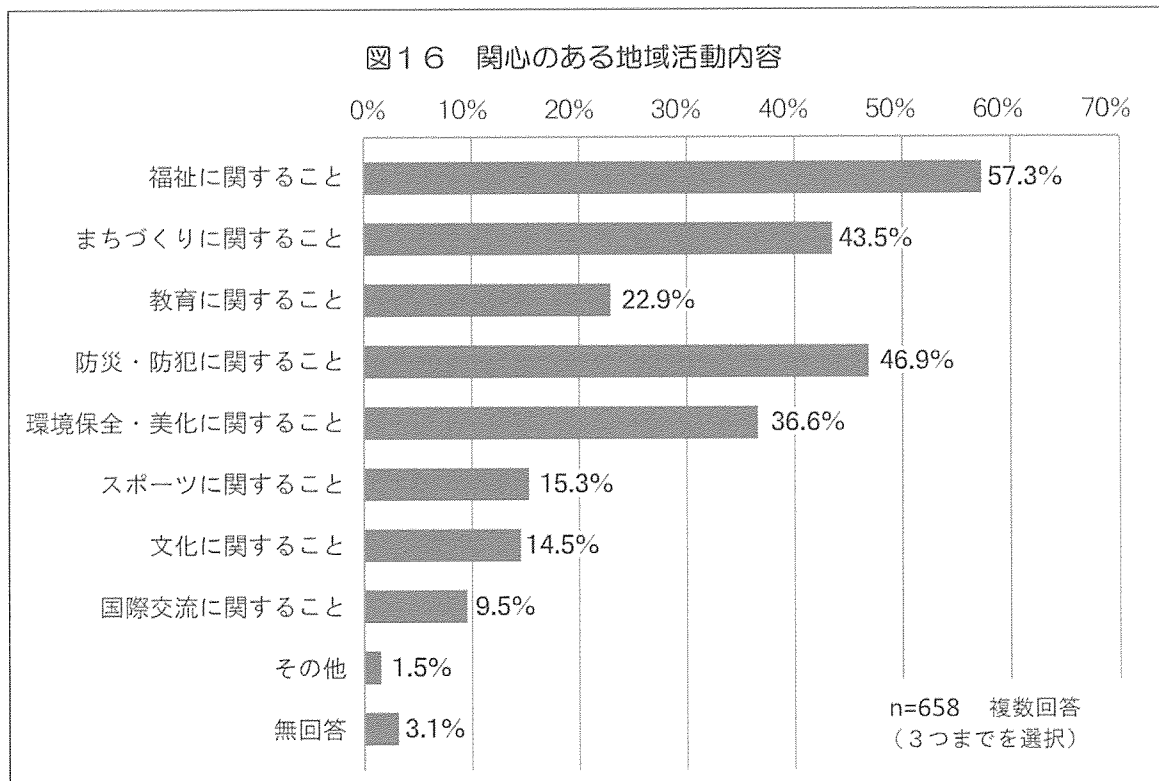
(2) 関心ある地域活動組織

「居住地のコミュニティでの活動（地区社会福祉協議会での活動を含む）」が66.7%で最も多く、5年前の同調査（58.2%）より、8.5ポイント上昇している。



(3) 関心ある活動内容

また、活動内容については、「福祉に関すること」、「まちづくりに関すること」、「防災・防犯に関すること」がそれぞれ40%を超えている。



(4) 地域活動に関心がない理由

「自分の生活で精一杯である」が54.2%で最も多い。年代別ごとの回答率では、30歳代以下の世代では、「活動内容がよくわからない」が多くなっている。また、40歳代から60歳代では「自分の生活で精一杯である」が多く、70歳代以上の方の回答では、「自分の健康に自信がない」が64.3%で、回答傾向に他の年代との違いがみられる。

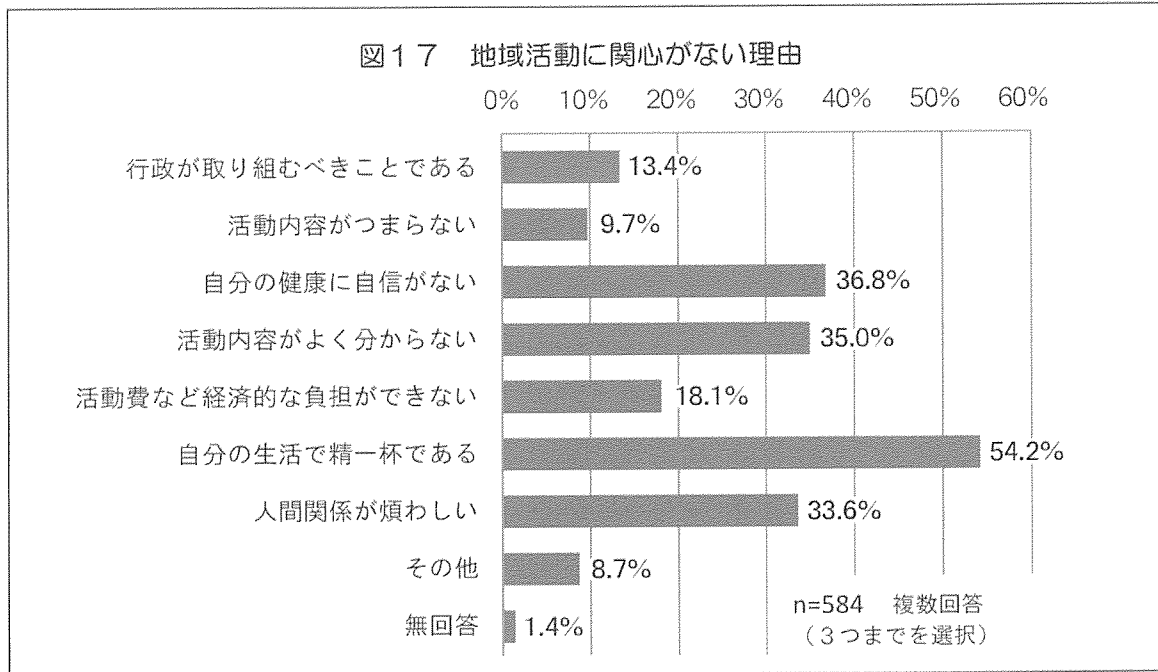


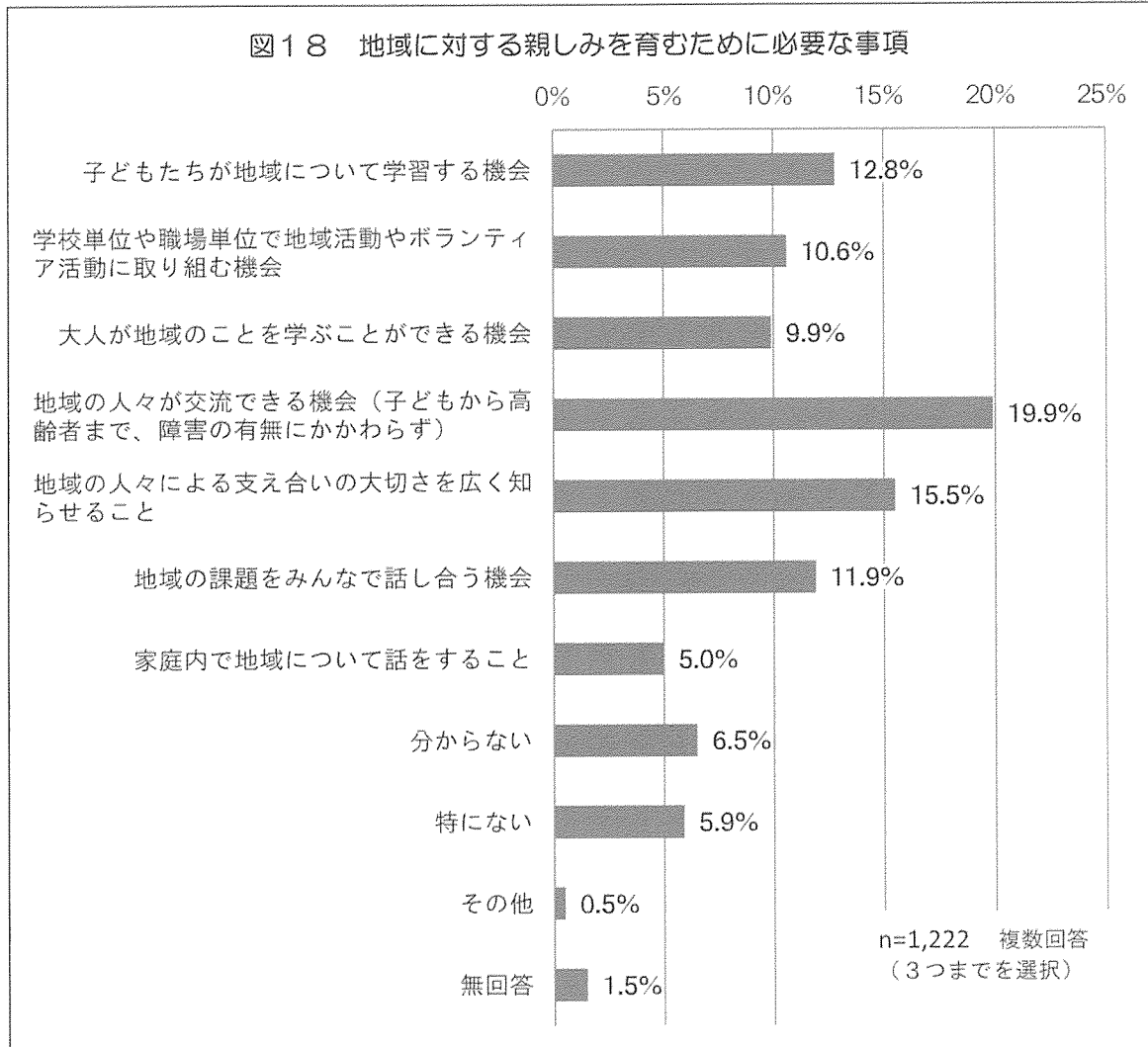
表7 地域活動に関心がない理由の年代別回答率

年代	18歳以上20歳未満 (n=2)	20歳代 (n=17)	30歳代 (n=15)	40歳代 (n=51)	50歳代 (n=42)	60歳代 (n=51)	70歳代以上 (n=98)	無回答 (n=1)
行政が取り組むべきことである	0.0%	0.0%	13.3%	11.8%	23.8%	15.7%	11.2%	0.0%
活動内容がつまらない	0.0%	11.8%	13.3%	13.7%	9.5%	9.8%	7.1%	0.0%
自分の健康に自信がない	0.0%	5.9%	6.7%	15.7%	21.4%	37.3%	64.3%	100%
活動内容がよくわからない	100%	82.4%	60.0%	39.2%	45.2%	35.3%	15.3%	0.0%
活動費など経済的負担ができない	0.0%	29.4%	26.7%	23.5%	14.3%	17.6%	14.3%	0.0%
自分の生活で精一杯である	50.0%	52.9%	40.0%	68.6%	52.4%	56.9%	49.0%	0.0%
人間関係が煩わしい	0.0%	11.8%	26.7%	41.2%	45.2%	37.3%	28.6%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	13.3%	11.8%	4.8%	2.0%	13.3%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	2.0%	2.0%	0.0%

※斜め文字は、各年代の中で最も回答率が高い項目を示す。

5 地域に対する親しみを育むために必要なこと

「地域の人々が交流できる機会（子どもから高齢者まで、障害の有無にかかわらず）」が19.9%で最も多い。また、「家庭内で地域について話をする事」が5.0%で少なく、地域の中で交流しながら育むべきと考える傾向にある。



6 日常生活において不安を感じていることなど

日常生活において不安を感じている困りごとや悩みごとについて、「特に不安を感じていない」が4.2%となっており、何かしらの困りごとや悩みごとを抱えていると思われる。

困りごとや悩みごとの項目では、「自分や家族の老後のこと」が20.2%、「自分や家族の健康のこと」が18.7%と多くなっている。

また、年代別の回答率でも、「自分や家族の老後のこと」、「自分や家族の健康のこと」が上位を占めている。

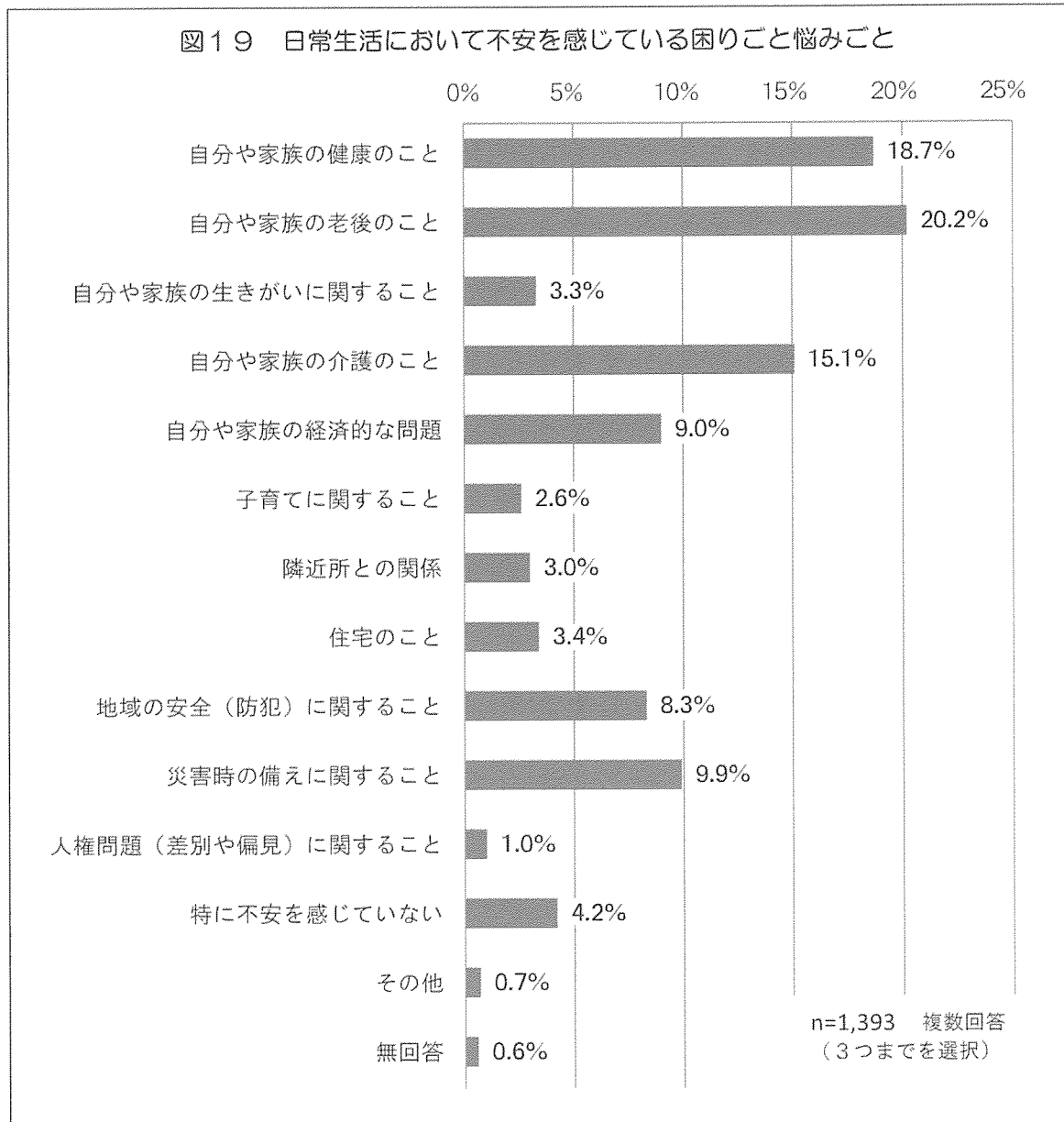


表8 困りごとと悩みごとの年代別回答率

	18歳以上20歳未満 (n=2)	20歳代 (n=30)	30歳代 (n=39)	40歳代 (n=81)	50歳代 (n=75)	60歳代 (n=122)	70歳代以上 (n=201)	無回答 (n=2)
自分や家族の健康のこと	50.0%	33.3%	41.0%	44.4%	46.7%	47.5%	51.2%	50.0%
自分や家族の老後のこと	0.0%	40.0%	38.5%	46.9%	66.7%	52.5%	50.2%	50.0%
自分や家族の生きがいに関すること	0.0%	6.7%	15.4%	1.2%	9.3%	7.4%	10.4%	0.0%
自分や家族の介護のこと	0.0%	20.0%	12.8%	29.6%	44.0%	44.3%	43.3%	50.0%
自分や家族の経済的な問題	0.0%	40.0%	30.8%	42.0%	32.0%	18.9%	10.0%	50.0%
子育てに関すること	0.0%	23.3%	33.3%	13.6%	2.7%	1.6%	0.5%	0.0%
隣近所との関係	0.0%	10.0%	5.1%	1.2%	5.3%	8.2%	10.4%	50.0%
住宅のこと	0.0%	13.3%	7.7%	12.3%	8.0%	9.8%	6.5%	0.0%
地域の安全（防犯）に関すること	50.0%	16.7%	25.6%	19.8%	20.0%	21.3%	20.9%	0.0%
災害時の備えに関すること	100%	26.7%	17.9%	17.3%	21.3%	29.5%	27.4%	0.0%
人権問題（差別や偏見）に関すること	0.0%	0.0%	2.6%	2.5%	6.7%	2.5%	1.5%	0.0%
特に不安を感じていない	0.0%	10.0%	10.3%	9.9%	6.7%	14.8%	10.4%	0.0%
その他	0.0%	3.3%	7.7%	1.2%	1.3%	0.8%	1.5%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%